

iPad の活用研修

— iPad を活用した効果的な教師支援ガイド —

本校訪問教育部

1 はじめに

iPad は iPhone の画面サイズを大きくし、電話機能を除いてアプリの使用に重きを置いた機器であり、タブレット端末と称されることもある。また、操作はタッチ操作で行い、パソコン並みの様々な処理が可能となっているのが特徴である。

iPad は様々な他の ICT 機器同様に児童生徒の学習支援、授業への活用など、その用途は学校現場で多岐にわたるようになり、GIGA スクール構想による学校現場の ICT 化や新型コロナウイルス感染症流行下における、非接触での教育機会の確保を可能にしたツールの一つとしても急速にその台数を増やしてきた。刀根山支援学校でも多くの iPad を日々の教育活動や校務などで活用を進めており、これらのツールを使える教員を増やし、教育の ICT 化を一層促進するために、本研修のような ICT 活用に関する研修を毎年企画している。

2 研修概要

令和 5 年 8 月 28 日 10:00~11:30

- ① iPad の概要について
- ② iPad の基本操作（ワークショップ含む）
- ③ストレージ、クラウド、OS について
- ④ iPad の応用（ワークショップ含む）
- ⑤アプリの紹介

3 研修の内容

① iPad の概要について

iPad の開発コンセプトや使用目的、iOS の特徴、アップル ID の役割などの概要について簡単に紹介した。本校においては所属部署に応じて複数のアップル ID を使用しており、ID に紐づいたアプリの操作や注意点などの説明も同時に行った。

② iPad の基本操作（ワークショップ）

ワークショップ形式で 1 人 1 台の iPad を使用し、以下のような操作を実際に行いながら研修を進めた。

- ・Wi-Fi 接続の仕方
- ・ホームについて
- ・アプリの起動、終了
- ・アプリの管理
- ・複数アプリの同時表示
- ・画面の調整
- ・スクリーンショット
- ・タイマー機能



参加者は iPad を何らかの形で使用したことがあり、スクロールやズーム、スワイプなどの基本操作は問題なくできた。ただ、それぞれの参加者が普段使用する機能は会議アプリやカメラアプリ、各ブラウザなど固定的で、初めて使用する機能などでは補

II 校内研修

足説明が必要であったり、既存のアプリの応用的な使用方法などを紹介したりした。

③ストレージ、クラウド、OSについて

iPad 内のストレージの確認方法やその概要、iCloud を始めとするクラウドサービスについて簡単に説明し、各主要な OS の違いやそれぞれの企業が提供しているサービスの違い、特色について説明を行った。



④iPad の応用（ワークショップ含む）

②において各操作に慣れた段階で、以下の操作についても iPad を使用して参加者に行ってもらった。

- ・各ショートカットの紹介、作成
- ・強制終了
- ・撮影アプリの活用
- ・画面録画
- ・読み上げ機能
- ・ユーザー辞書
- ・アクセスガイド
- ・スクリーンタイム

②の内容である程度操作には慣れていたので操作自体の問題は特になかった。機能としての利便性や教育活動のどのような場面で使用できるかについて、話し合われた。

4 課題

今回、ICT 研修を教員のスキル別、ニーズ別に分けて行い、本研修は比較的初心者にも分かりやすい入門的な内容でスキルのボトムアップを狙った内容で実施した。

全ての参加者が基本的な操作や応用的な操作ができるようにはなった。しかし、それらを継続的に使用しないことで、操作方法が分からなくなったり、その機能自体を忘れてしまったりすることも懸念される。その機能をどのように教育で活用するかを今後も継続的に参加者には考えていってもらいたい。

5 まとめ

今後、様々な ICT 機器が教育現場に導入されることが見込まれる。タブレットだけでも iPad や Chromebook、Windows タブレットなど、各学校や市町村によってそのメインツールは様々である。刀根山支援学校は全国、様々な校種から児童生徒が転入することもあり、iPad に限らず児童生徒が地域校で使用しているツールを持参してきた場合、それらをすぐに使用するスキルが教員側にも求められる。現在はツールが固定される前段階でもあるが、その過渡期にこのように各教員の利用スキルを高める研修を定期的に行うことは教員のスキルのボトムアップと汎用化にとっても有意義であると考えられる。